

平成27年度 水道事業ガイドライン業務指標（H28. 3. 31現在）

安心：すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給

a) 水資源の保全

番号	業務指標名	解説	計算値
1001	水源利用率(%)	確保している水源水量に対する一日平均配水量の割合を示す。	29.3
	$(\text{一日平均配水量} / \text{確保している水源水量}) \times 100$		
1002	水源余裕率(%)	一日最大配水量に対して確保している水源水量がどの程度の余裕（まだ取水できる量）があるかを示す。	173.0
	$[(\text{確保している水源水量} / \text{一日最大配水量}) - 1] \times 100$		

b) 水源から給水栓までの水質管理

番号	業務指標名	解説	計算値
1102	水質検査箇所密度(箇所/100km ²)	給水区域において毎日行う水質検査箇所数のその面積100km ² 当たりに対する水質検査箇所数を示す。	10.8
	$(\text{水質検査採水箇所数} / \text{給水区域面積}) \times 100$		
1104	水質基準不適合率(%)	給水栓の水質が、国で定めている水質基準に違反した率で、1項目でも違反している場合は違反とみなす。	0.0
	$(\text{水質基準不適合回数} / \text{全検査回数}) \times 100$		
1117	鉛製給水管率(%)	鉛管を使用している件数の全給水件数に対する割合を示す。	0.0
	$(\text{鉛製給水管使用件数} / \text{給水件数}) \times 100$		

安定：いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

a) 連続した水道水の供給

番号	業務指標名	解説	計算値
2002	給水人口一人当たり配水量(L/日/人)	給水人口一人当たり何L配水したかを示す。	433
	$(\text{一日平均配水量} / \text{給水人口}) \times 1,000$		
2004	配水池貯留能力(日)	水道水をためておく配水池の総容量が平均配水量の何日あるかを示す。	1.60
	$\text{配水池総容量} / \text{一日平均配水量}$		
2005	給水制限数(日)	一年間で何日給水制限したかを示す。	0
	年間給水制限日数		
2006	普及率(%)	給水区域内で水道を使っている人の割合を示す。	100.0
	$(\text{給水人口} / \text{給水区域内人口}) \times 100$		

b) 将来への備え

番号	業務指標名	解説	計算値
2103	経年化管路率(%)	法定の耐用年数を越えた管路延長の総延長に対する割合を示す。	0.1
	$(\text{法定耐用年数を越えた管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$		
2104	管路の更新率(%)	年間で更新した管路延長の総延長に対する割合を示す。	0.39
	$(\text{更新された管路延長} / \text{管路総延長}) \times 100$		

c) リスクの管理

番号	業務指標名	解説	計算値
2201	水源の水質事故数(件)	年間の水源の有害物質(油、化学物質の流出など)による水質汚染の回数を示す。	0
	年間水源水質事故件数		
2205	給水拠点密度(箇所/100km ²)	緊急時に応急給水できる貯水拠点が給水区域100km ² 当たり何箇所あるかを示す。	14.4
	$(\text{配水池} \cdot \text{緊急貯水槽数} / \text{給水区域面積}) \times 100$		
2207	浄水施設耐震率(%)	浄水施設のうち高度な耐震化がなされている施設能力の全浄水施設能力に対する割合を示す。	0.0
	$(\text{耐震対策の施されている浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$		
2210	管路の耐震化率(%)	多くの管路のうち耐震性のある材質と継手(管の接続部)により構成された管路延長の総延長に対する割合を示す。	7.0
	$(\text{耐震管延長} / \text{管路総延長}) \times 100$		
2215	車載用の給水タンク保有度(m ³ /1,000人)	緊急時に使用できる車載用給水タンクの総容量が人口1000人当たり何m ³ 保有されているかを示す。	0.22
	$(\text{車載用給水タンクの総容量} / \text{給水人口}) \times 1,000$		
2216	自家用発電設備容量率(%)	自家用発電機の容量が当該設備に必要とされる電力の総量に対する割合を示す。	224.8
	$(\text{自家用発電設備容量} / \text{当該設備の電力総容量}) \times 100$		

持続：いつまでも安心できる水を安定して供給

a) 地域特性にあった運営基盤の強化

番号	業務指標名	解説	計算値
3002	経常収支比率(%)	経常収益の経常費用に対する割合を示す。	97.9
	$[(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用})] \times 100$		
3004	累積欠損金比率(%)	累積欠損金の受託工事収益を除いた営業収益に対する割合を示す。	0.0
	$[\text{累積欠損金} / (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})] \times 100$		
3007	職員一人当たり給水収益(千円/人)	損益勘定所属職員一人当たりの生産性について、給水収益を基準として把握するための指標である。	79,556
	$(\text{給水収益} / \text{損益勘定所属職員数}) / 1,000$		
3008	給水収益に対する職員給与費の割合(%)	職員給与費の給水収益に対する割合を示す。	8.7
	$(\text{職員給与費} / \text{給水収益}) \times 100$		
3012	給水収益に対する企業債残高の割合(%)	企業債残高の給水収益に対する割合を示す。	218.4
	$(\text{企業債残高} / \text{給水収益}) \times 100$		
3013	料金回収率(%)	供給単価の給水原価に対する割合を示す。	89.4
	$(\text{供給単価} / \text{給水原価}) \times 100$		
3014	供給単価(円/m ³)	有収水量(年間の料金徴収の対象となった水量)1m ³ 当たりについて、どれだけの収益を得ているかを示す。	239.0
	給水収益/有収水量		
3015	給水原価(円/m ³)	有収水量1m ³ 当たりについて、どれだけ費用がかかっているかを示す。	267.3
	$[\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費})] / \text{有収水量}$		
3018	有収率(%)	有収水量(年間の料金徴収の対象となった水量)の年間の配水量(給水量)に対する割合(%)を示す。	82.2
	$(\text{有収水量} / \text{給水量}) \times 100$		
3019	施設利用率(%)	一日平均給水量の一日給水能力に対する割合を示す。	32.2
	$(\text{一日平均給水量} / \text{一日給水能力}) \times 100$		
3022	流動比率(%)	流動資産の流動負債に対する割合を示す。	1,216.2
	$(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$		

番号	業務指標名	解説	計算値
3023	自己資本構成比率(%)	自己資本金と剰余金の合計額の負債・資本合計額に対する割合を示す。	84.1
	$[(\text{自己資本金} + \text{剰余金}) / \text{負債} \cdot \text{資本合計}] \times 100$		
3025	企業債償還元金対減価償却費比率(%)	企業債償還元金の当年度減価償却費に対する割合を示す。	8.8
	$(\text{企業債償還元金} / \text{当年度減価償却費}) \times 100$		

b) 水道文化・技術の継承と発展

番号	業務指標名	解説	計算値
3101	職員資格取得度(件/人)	職員が一人当たり持っている法定資格の件数を示す。	2.35
	職員が取得している法定資格数 / 全職員数		
3103	外部研修時間(時間)	職員一人当たりの外部研修を受けた時間数を示す。	3.8
	$(\text{職員が外部研修を受けた時間} \cdot \text{人数}) / \text{全職員数}$		

c) 消費者ニーズをふまえた給水サービスの充実

番号	業務指標名	解説	計算値
3201	水道事業に係る情報の提供度(部/件)	広報紙配布部数の給水件数に対する割合を示す。	1.0
	広報紙配布部数 / 給水件数		
3206	水質に対する苦情割合(件/1,000件)	水質苦情件数の給水件数に対する値に1000を乗じた値を示す。	0.00
	$(\text{水質苦情件数} / \text{給水件数}) \times 1,000$		

環境：環境保全への貢献

a) 地球温暖化、環境保全などの推進

番号	業務指標名	解説	計算値
4001	配水量1m ³ 当たり電力消費量(kWh/m ³)	取水から給水栓まで1m ³ の水を送水するまでに要した電力消費量を示す。	0.38
	全施設の電力使用量 / 年間配水量		
4004	浄水発生土の有効利用率(%)	浄水場で発生する土を埋め立てなど廃棄処分せず、培養土などとして利用している量の全発生土量に対する割合を示す。	100.0
	$(\text{有効利用土量} / \text{浄水発生土量}) \times 100$		

管理：水道システムの適正な実行・業務運営及び維持管理

a) 適正な実行・業務運営

番号	業務指標名	解説	計算値
5001	給水圧不適正率(%)	給水圧力が適正範囲内にコントロールできなかった測定点数と日数が年間で全体の測定点に対して何箇所あったかの割合を示す。	0.0
	$[\text{適正な範囲になかった圧力測定箇所} \cdot \text{日数} / (\text{圧力測定箇所総数} \times \text{年間日数})] \times 100$		
5006	料金未納率(%)	年度末に収納されていない金額の総料金収入額に対する割合を示す。	7.1
	$(\text{年度末未納料金総額} / \text{総料金収入額}) \times 100$		
5007	給水停止割合(件/1,000件)	料金の未納により給水停止を実施した件数の給水件数1000件に対する給水停止を実施した件数を示す。	5.5
	$(\text{給水停止件数} / \text{給水件数}) \times 1,000$		
5008	検針委託率(%)	検針を委託した水道メータ数の総数に対する割合を示す。	100.0
	$(\text{委託した水道メータ数} / \text{水道メータ数}) \times 100$		
5009	浄水場第三者委託率(%)	浄水場の運転管理指針を委託した浄水能力の総浄水能力に対する割合を示す。	100.0
	$(\text{第三者委託した浄水場能力} / \text{全浄水場能力}) \times 100$		

b) 適正な維持管理

番号	業務指標名	解説	計算値
5101	浄水場事故割合(10年間の件数/箇所)	浄水場が事故で過去10年間に停止した件数の総浄水場に対する割合を示す。	0.0
	$10\text{年間の浄水場停止事故件数} / \text{浄水場総数}$		
5102	ダクティル管・鋼管率(%)	鉄製の水道管であるダクティル管と鋼管の延長の水道管総延長に対する割合を示す。	37.7
	$[(\text{ダクティル管延長} + \text{鋼管延長}) / \text{管路総延長}] \times 100$		
5103	管路の事故割合(件/100km)	管路の年間事故件数の管路延長100kmに対する事故件数を示す。	0.0
	$(\text{管路の事故件数} / \text{管路総延長}) \times 100$		
5107	漏水率(%)	年間の漏水量の配水量に対する割合を示す。	1.9
	$(\text{年間漏水量} / \text{年間配水量}) \times 100$		
5115	貯水槽水道指導率(%)	貯水槽水道総数に対する調査・指導の割合を示す。	0.0
	$(\text{貯水槽水道指導件数} / \text{貯水槽水道総数}) \times 100$		